

新たに

農業委員12名・農地利用最適化推進委員9名が決定

7月20日、農業委員任命式が行われ、町長から任命辞令が交付されました。

その後行われた臨時総会において、会長に影山徳治さん、会長職務代理者に梅田福一郎さんが委員の互選により選出されました。

また、同日、農地利用最適化推進委員が農業委員会から委嘱されました。

任期は、農業委員、農地利用最適化推進委員ともに令和2年7月20日から令和5年7月19日までの3年間となります。

農業委員（敬称略）

苦瀬 茂夫	鈴木 章司	藤沼 政雄
松本茂利夫	中山 茂生	篠崎 勝
影山 徳治	小田川恒雄	中村 啓次
松本 紀夫	梅田福一郎	菊地 慶子



農地利用最適化推進委員（敬称略）

須釜 良夫	石塚 初男	杉田 忠衛
知久 武雄	青柳 初男	木村 恒夫
大澤 満	栃木 富作	山下 勝



農家のみなさんへ

稲わら等の焼却防止にご協力を！

稲わら・もみ殻・麦わらの焼却は、地域住民の健康への影響や延焼による火災の恐れがあります。

また、最近では、洗濯物や室内に臭いが付着するなどといった苦情も寄せられています。

稲わら・もみ殻・麦わらは、大切な資源です。

人と環境にやさしい農業を推進するために、稲わら・もみ殻・麦わらは、焼却せずに有効に活用しましょう。

稲わら・もみ殻・麦わらの有効活用例

○水稲、大豆

水田へのトラクター等での耕うんによる有機物の供給

※水田をトラクター等で耕うんする場合には、腐熟を促進させるために、必ず腐熟促進剤を使用しましょう。

○果樹

敷わらによる地表面マルチ、マルチ栽培の緩衝資材

○野菜

トラクター等での耕うんによる有機物の供給、敷わらによる地表面マルチ

○畜産

繁殖牛、飼育牛等の粗飼料としての利用・敷き料としての利用

○その他

たい肥の原料としての利用

※注意

やむを得ず焼却する場合には、必要最小限にとどめていただき、近所の迷惑にならないよう、風向きなど十分考慮して実施してください。

○お問い合わせ

産業課 地域振興G
☎(84)2582(直通)